

»住宅火災を防ごう！

全国で発生した火災件数は年々減少傾向にあります。

しかし、住宅火災によって毎年、1,000人以上の尊い命が奪われています。その中で、出火原因は、「たばこ」「こんろ」「たき火」などが上位であり、ちょっとした不注意によって引き起こされています。

皆さんの大切な命や財産、家族など、火災から守るために、いま一度**火の用心**に努めましょう。



住宅防火 いのちを守る10のポイント ~4つの習慣・6つの対策~

平成12年に作成された「住宅防火 いのちを守る7つのポイント」が、近年の火災を取り巻く状況の変化や、高齢者の生活実態等を踏まえ見直されました。

[「住宅防火 いのちを守る10のポイント」リーフレット \(PDF : 841KB\)](#)

こんなところにも注意が必要です

- ・家の周りに燃えやすい物を置かない。
- ・タバコの投げ捨てをしない。
- ・コンセントのほこりを定期的に掃除する。
- ・暖房器具は点検してから使用する。
- ・ストーブの上に洗濯物などを干さない。
- ・石油ストーブは火を消してから給油する。



アルコール消毒液等の使用について

- ・アルコール消毒液や飛沫防止シートの周辺で火気を使用しない。
- ・直射日光が当たる場所や高温となる場所を避けて、設置・保管をする。
- ・アルコール消毒液を容器に詰め替える場合は、漏れ、あふれ又は飛散しないように注意する。

【リンク】

[新型コロナウイルス感染症対応に伴うアルコールの取扱い等について | 総務省消防庁](#)

スプレー缶・カセットボンベの廃棄に伴う注意喚起

中身の残ったスプレー缶（エアゾール缶）やカセットボンベがそのままごみに出され、ごみ収集車や、ごみ処理施設で火災が発生しています。

スプレー缶やカセットボンベを廃棄するときには、火災や事故を防止するために、中身を使い切り、適切に廃棄するよう心がけましょう。



[スプレー缶等の内容物について \(PDF\)](#)

« 捨てる前に!! »

1. 中身を出し切ってください。

中身を出し切る（ガス抜き）ときは、屋外の風通しの良い場所で、付属のガス抜きキャップ等を使用して行いましょう。

2. ガス抜きキャップがない場合は、スプレーボタンを押すなどして完全に押し切りましょう。

※廃棄の際、穴をあけるかどうかは、自治体ごとに異なりますので、自治体ごとの収集ルールをご確認ください。

[スプレー缶等の廃棄について \(PDF\)](#)（一般社団法人 日本エアゾール協会提供）